

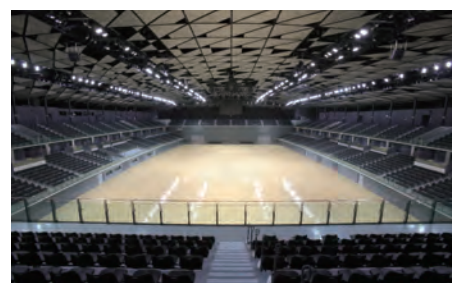
武蔵野の森 総合スポーツプラザ 様

撮影・画像ご提供、ご協力:
株式会社東京スタジアム 様
株式会社京王設備サービス 様

再生可能エネルギーの活用やコージェネレーション導入による省エネと共に、BCP対策も施したサステナブルな総合スポーツ施設

武蔵野の森総合スポーツプラザ様は、国際的な競技大会や大規模なイベント開催などスポーツ振興に貢献するとともに、地域コミュニケーションの活性化等のまちづくりにも寄与する総合的な施設です。自然エネルギー利用と設備システムの効率化など様々な環境配慮技術を導入し、省エネルギー・CO₂排出削減を行うとともに、災害時には一時滞在施設として必要な機能が確保できるよう配慮されています。

- 所在地 東京都調布市西町290-11
- 建物規模 地下1階、地上4階(メインアリーナ棟)
- 延床面積 49,120㎡
- 開業年月 2017年11月

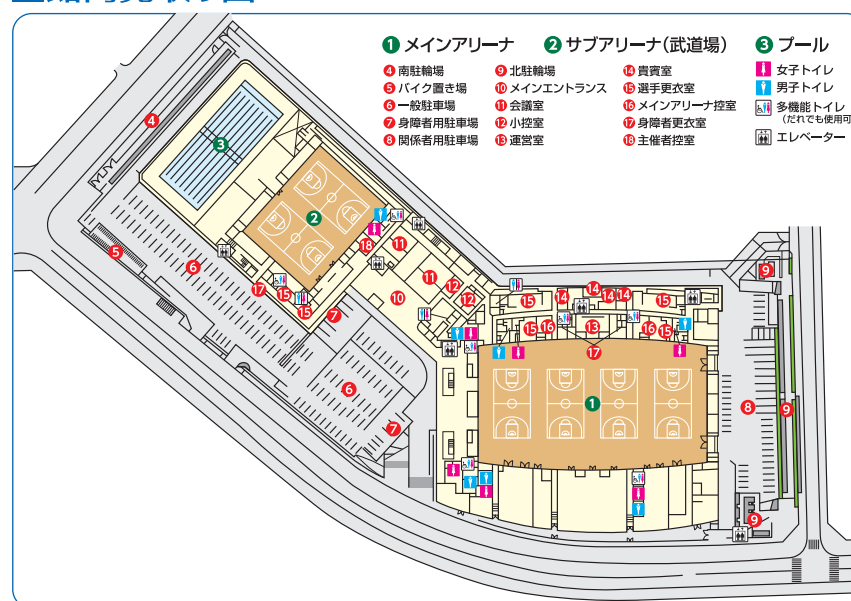


▲メインアリーナ



▲サブアリーナ

館内見取り図



納入機器概要



▲ソーラーナチュラルチャー

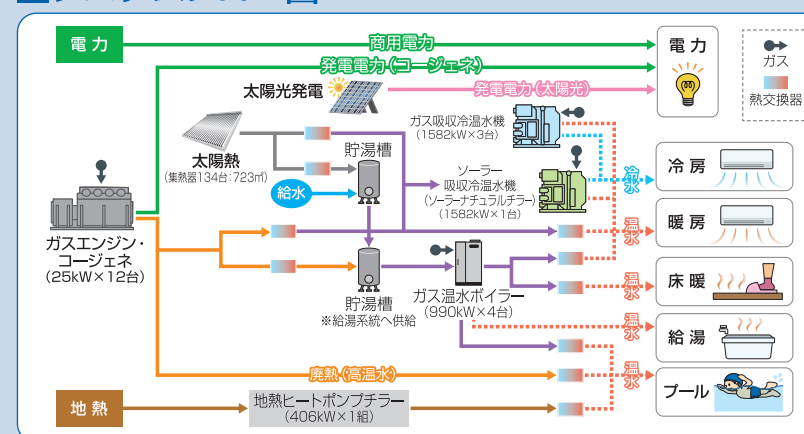


▲太陽熱集熱器

最新のエネルギー技術を積極的に取り入れた設備の一つとして、太陽熱集熱器と当社のソーラーナチュラルチャーを組み合わせた空調システム「ソーラークーリングシステム」が採用されています。太陽熱で作られた温水を空調利用し、エネルギー消費量の低減を可能にするなど、再生可能エネルギーを最大限に利用したシステムで、省エネ・省CO₂に大きく貢献しています。



システムフロー図



太陽熱利用だけでなく、太陽光発電、雨水利用、地中熱利用等の再生可能エネルギーの活用や、ガスコージェネレーションシステムで分散型発電にも対応しています。コージェネレーションについては、電力ピークカットに貢献するだけでなく、BCP対策として停電対応型を採用し、エネルギーセキュリティの強化も図られています。

■納入機器 ソーラー吸収冷温水機 QEG-WE560FG×1基
ガス焚直火二重効用吸収冷温水機 QDW-WE450FG×3基

■担当 首都圏支店 ファシリティソリューション部